出演者　プロフィール



■竹内 公一 Koichi Takeuchi ／指揮者・合唱指導

新潟市出身。東京芸術大学に学ぶ。「メサイア」のテノールソロでデビューの後、バッハ、ハイドン、モーツアルト、ドヴォルザークなどの宗教曲や各地の「第九」のソリストとして多数出演。98年から10年間、びわ湖ホール声楽アンサンブルに所属。現在は二期会会員としてコンサート、オペラに出演している。指揮者としての活動も多く、合唱団、オーケストラ、吹奏楽団の指導、指揮を務めている。特に多くの演奏、指導の経験からあらゆる声楽作品に精通し、合唱指揮者としての評価は高い。びわこアーベントロート合唱団とはソリストとしてハイドン「天地創造」「四季」「チェチーリアミサ」「ハーモニーミサ」、モーツアルト「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」などを共演。2007年から指揮者として指導にあたっている。



■脇阪　法子 Noriko Wakisaka ／ソプラノ

長浜市出身。滋賀県立虎姫高等学校を経て、大阪音楽大学卒業。卒業時最優秀賞受賞。滋賀大学大学院教育学研究科修了。第 14 回滋賀県新人演奏会にて最優秀賞受賞。第 6 回あおによし音楽コンクール第 1 位。オペラでは関西歌劇団定期公演「オリンピーアデ」アリステーア、びわ湖ホールオペラへの招待「魔笛」夜の女王、「つばめ」リゼット、「ファルスタッフ」ナンネッタ、「森は生きている」7 月･娘･廷臣、「劇場支配人」ヘルツ夫人、彦根オペラ講座「妖精ヴィッリ」アンナ、いばらきオペラ亭「リゴレット 」ジルダ、「こうもり」アデーレ等出演。ベートーヴェン「第九」、モーツァルト「レクイエム」、バッハ「ヨハネ受難曲」等独唱。日本演奏家連盟主催 新進演奏家育成プロジェクト・オーケストラ・シリーズ第 80 回大阪出演。2021 年度平和堂財団芸術奨励賞受賞。びわ湖ホール声楽アンサンブル･ソロ登録メンバー。



■太田 智子 Tomoko Ohta ／ソプラノ・合唱指導

大阪音楽大学声楽学科卒業。同大学専攻科修了。同大学第 1 回新人演奏会に出演。第 38 回なにわ芸術祭「新進音楽家競演会」新人賞、ほか受賞。1999 年渡伊。ミラノ音楽院にて研鑽を積み、ミラノ内外で多数の演奏会に出演。また、ミラノ音楽院、ロータリー・ライオンズクラブコンクールで第 2 位を受賞、奨学金を取得。ヘンデル「メサイア」、バッハ「ヨハネ受難曲」などのソリストを務めるほか、各種コンサートに出演。2024 年にはソロリサイタルを開催し好評を博した。現在、びわこアーベントロート合唱団、アミューズ・コール、トゥッティ・エコー各指導者。女声アンサンブルグループ「セシリアシンガーズ」代表。



■藤居　知佳子 Chikako Fujii ／メゾ・ソプラノ

同志社女子大学卒業。在学時に栄光会特別賞受賞。京都市立芸術大学大学院修了。修了後、滋賀県芸術劇場びわ湖ホール声楽アンサンブルメンバーとして 5 年間活動し満期退団。第 28 回万里の長城杯国際音楽コンクール第一位 大阪市長賞。青山音楽記念館バロックザールにて「藤居知佳子メゾソプラノリサイタル」を開催。オペラでは『フィガロの結婚』マルチェリーナ『コジ・ファン・トゥッテ』デスピーナ『魔笛』侍女Ⅲ『こうもり』オルロフスキー『ファルスタッフ』クイックリー夫人『天国と地獄』世論他多数演じる。宗教曲では、ベートーヴェン「第九」 ヘンデル「メサイア」 J. S. バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「マニフィカト」「クリスマス・オラトリオ」「ロ短調ミサ」ヴィヴァルディ「グローリア」モーツァルト「レクイエム」ラインベルガー「レクイエム」ロッシーニ「スターバト・マーテル」他多数のアルトソロを務める。びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー。



■林　隆史 Takashi Hayashi ／バス・バリトン

愛知県立芸術大学声楽科首席卒業、同大学院修了。オペラでは『ドン・ジョヴァンニ』騎士長『コシ・ファン・トゥッテ』ドン・アルフォンソ『フィガロの結婚』伯爵、バルトロ『魔笛』ザラストロ、弁者『愛の妙薬』ベルコーレ『ラインの黄金』ヴォータン『ラ・ボエーム』コッリーネ『ホフマン物語』リンドルフ『ルサルカ』水の精『ドン・キホーテ』タイトルロール『泣いた赤鬼』青おに、『こうもり』フロッシュなど多彩な役を演じ好評を博す。宗教曲等ではヨハネ受難曲、マタイ受難曲、メサイア、第九などのソリストを務める。BS 朝日「子供達に残したい 美しい日本のうた」の収録に参加。びわ湖ホール声楽アンサンブルソロ登録メンバー。混声合唱団『コール・フォルトゥーナ』、かめおか少年少女合唱団代表兼指導者。びわ湖ホール舞台技術研修ミュージカル公演の歌唱指導を担当。大阪 AMG 専門学校ヴォイストレーナー。京都芸術大学舞台芸術学科非常勤講師。

■びわこの風オーケストラ／管弦楽

2005 年「滋賀県文化振興事業団」のプロデュースによる 水口での演奏会をきっかけに結成された。滋賀県の若手演奏家や京阪神で活躍する中堅音楽家など、滋賀県にゆかりのある演奏家たちが集まり、 定期的に演奏会を開催している。また、中核メンバーによる小編成オーケストラ『びわこの風チェンバーオーケストラ』としても公演しており、 地域の音楽活動の活性化のために、学校公演など、様々な活動を展開している。

■びわこアーベントロート合唱団／合唱

1973年大津労音の例会、オペラ「トスカ」の合唱団員を募集したのをきっかけに、翌年から「第九」を歌う大津労音合唱団として活動を始める。その後、発足25周年を機に合唱団の愛称を「びわこアーベントロート合唱団」と命名し、2000年に第1回定期演奏会を開催し、現在に至る。“アーベントロート(Abendrot)”とはドイツ語で“夕映え”を意味し、「びわ湖の夕映えのように美しい音色を奏でたい」という願いが込められている。団員の職業や年齢はさまざまで、その幅広さと歌への情熱が、合唱団の暖かく豊かなハーモニーの源になっている。

